



美作原水協

6・9行動400回を祝い 次の峰へ

美作原水協（下野真代表）は11月19日、401回目の6・9行動を行いました。午後5時から元魚町の中央郵便局前の行動には医療生協、平和委員会、高教組、人権連、民商などの団体と県原水協をあわせ10人が参加しました。国連本部に展示されている署名のツインタワーのパネルも展示し、通行人に署名を訴えました。「わしゃー大阪で空襲におうた」と署名に応じた男性や、学校帰りの高校生が署名してくれ、1時間の行動で59筆集約しました。

午後6時30分から市内の中央会館で6・9行動400回記念を祝う集いが行われました。1977年10月6日、第1回目の行動から参加している人をはじめ、400回の行動を支える地域原水協の仲間20人が参加し、苦労話に盛り上りました。とりわけ住民過半数をめざした「アピール署名」の運動は美作原水協の総力を



あげた取り組みとして地域の確信になっています。

参加者は「次は500回を」と次も峰を目指して奮闘する決意をかためました。

（写真 左下400回記念の集い 右下・401回目の6・9行動）



岡山市被爆者会が原爆写真展  
「核兵器廃絶・世界恒久平和を次世代に渡そう」平末市会長訴え

岡山市原爆被爆者会が主催する第20回原爆平和展が、岡山市北区駅元町の岡山シティミュージアム5Fで開催されています。日本被団協の「原爆と人間」写真パネル13枚が展示され、初日の17日には200人を超える市民の見学がありました。毎年天満屋地下ギャラリーで大規模に開催していたのですが、今年は場所を変えての開催で25日まで展示されます。「核武装論を唱える勢力の台頭、憲法拡大解釈、戦前の日本への逆戻り、など危険な動きを許さず、核兵器廃絶を次の世代に引き継ごう」と市被爆者会平末豊会長は訴えています。

